

真宗講座

本講座は、岡崎教区第15組が長年実施している夏期集中型の聞法講座で、最寄りの寺院において、内外で活躍されている講師より、御法話をいただきます。日常生活に流されがちな私たちが“現代に生きる浄土真宗の教え”に触れる大切な機縁です。本講座の開催にあたっては、有縁の方々の志により、組内僧侶によって申経をお勤めいたします。是非、お誘い合わせの上、ご参詣・ご聴聞下さいますよう心よりお願い申し上げます。

共通テーマ『聖典に学ぶ』

第1回 ^{さとお}里雄 ^{こうい}康意 師 (前真宗大谷派宗務総長 岐阜県海津市 緑林寺住職)

6月21日(金) 午前9時始経～12時

^{せんじゅぼう}専修坊 (高浜市本郷町6-10-3) 電話 0566-53-1403

第2回 鶴見 晃 師 (寺住職)

6月25日(火) 午後1時30分始経～4時30分

^{ほうりんじ}寶林寺 (安城市根崎町西根207) 電話 0566-92-0845

第3回 鶴見 晃 師 (住職)

6月26日(水) 午前9時始経～12時

^{あきしのじ}秋篠寺 (高浜市二池町1-5-18) 電話 0566-53-1383

第4回 廣瀬 惺 師 (住職)

6月28日(金) 午前9時始経～12時

^{ほんりゅうじ}本龍寺 (安城市和泉町中本郷41) 電話 0566-92-0505

※ 各日とも、すべて申経が上がります(30分程度)

主催：真宗大谷派岡崎教区第15組教化委員会
 (高浜市)：恩任寺・秋篠寺・専修坊・壽覺寺・正林寺
 (安城市)：本龍寺・信照寺・念空寺・寶林寺・城泉寺・明水寺
 (西尾市)：隨嚴寺・龍讚寺

『生きていることの意味を求めて ～後世を祈る～』

さとお こうい
里雄 康意 師

(前真宗大谷派宗務総長 岐阜県海津市 緑林寺住職)

生きることの苦しみ、不安の根っこに生きていることの意味が見いだせないという苦しみがある。だから、安んじられない、穏やかになれない。ストレスが溜まる。

どうすればいいのか!!聖人は29歳の時「後世を祈らん」と六角堂に参籠された。



『浄土の要門 —『観無量寿経』の教え—』

つるみ あきら
鶴見 晃 師

(真宗大谷派 教学研究所所員 静岡県浜松市 善正寺衆徒)

浄土三部経の一つ『仏説観無量寿経』は、浄土の要門（浄土に入るかなめの門）の教えであると言われます。『観無量寿経』は私たちにとってどのような意味を持つお経なのかを考えたいと思います。



『真宗の眼目 —「信心」—』

ひろせ しずか
廣瀬 惺 師

(元同朋大学教授 岐阜県揖斐郡揖斐川町 妙輪寺住職)

真宗にご縁をいただきながら、はっきりしないという思いを持っているということがあります。

そういう私たちのために、蓮如上人は「信心をもって本とせられそうろう」と、教えてくださっています。

それは、どのようなことなのでしょう。

